

明日に向かって 2025

同窓会・親の会総会、二十歳を祝う会

8月3日(日)に「同窓会・親の会総会」及び「令和7年度二十歳を祝う会」を大曲エンパイヤホテルで開催しました。

「二十歳を祝う会」では、記念品と花束が親の会会長様より贈呈されました。二十歳を迎えた皆さんや同窓生は、久しぶりに会った友達や職員との再会を楽しみ、在学時代を振り返るとても和やかな時間となりました。

また、テーブルスピーチとして、二十歳を迎えた方々に近況をお話していただきました。仕事のことや最近のマイブームのことなど、楽しい話をたくさん聞くことができました！



卒業生にインタビュー！

R5年度卒業生の金明日佳さん(ネット横手)と室谷匠海さん(株式会社プログレスダイカスト秋田)、永井雄一郎さん(テンダーランドリーファクトリー)の卒業生3名に学校卒業後の生活についてインタビューを行いました。

「①仕事のやりがい」「②仕事で気を付けていること」「③仕事を通して成長したところ」「④給料の使い方」「⑤学校で学んでよかったこと」「⑥学校在学中にやっておくべきこと」「⑦在校生へメッセージ」の7点について聞きました。

金 明日佳さん

- ① 作業で作った小物入れが地域のイベントの景品になったことです。
- ② 作業に集中することです。
- ③ いろいろな人と関われるようになりました。
- ④ 少しですが、推しのグッズを買っています。
- ⑤ 作業学習を通して報連相の大切さを、寄宿舍生活を通して洗濯などを学びました。
- ⑥ 体力をつけることです。
- ⑦ 実習をがんばってください。



室谷 匠海さん

- ① 仕事を時間内に終わらせることです。
- ② 道具でケガをしないようにしています。
- ③ 時間内にたくさんの作業製品ができるようになったことです。
- ④ ゲームやガンブラなど、自分の趣味に使っています。
- ⑤ 作業学習を通して、安全や報連相の大切さを学びました。
- ⑥ 体力をつけることです。
- ⑦ 今ある生活を楽しんでください。



永井 雄一郎さん

- ① 水分補給と休憩を大切にして仕事を頑張っています。
- ② 洗濯物のしわに気をつけ、あったら直しています。
- ③ 任される仕事が増えました。
- ④ ほっぺのお弁当を買っています。休みの日には、コナンとワンピースのマンガを買っています。
- ⑤ 寄宿舍で友達と過ごしたことがよい思い出です。
- ⑥ 国語ですね。
- ⑦ 2032年は創立40周年ですね。



福祉事業所説明会を開催しました！

7月18日（金）、本校体育館を会場に福祉事業所説明会を開催しました。

はじめに、大曲公共職業安定所の武田様より障がい者雇用の動向に関するお話、大仙市健康福祉部社会福祉課の熊谷様より福祉サービスの利用と福祉新制度についてのお話があり、今後必要となる情報をたくさん教えていただきました。

続いて、大仙市や美郷町の福祉事業所の方々に来校いただき、施設の特徴や送迎、グループホームのことなどについての説明をしていただきながら、保護者と個別の相談会を行いました。たいへん暑い中ではありましたが、将来の福祉サービスの利用に向けて、各事業所の方針や作業内容、余暇活動などについて直接相談できたよい機会となりました。

社会参加・職業自立を目指すために①

小学部の
取組

本校では「社会参加・職業自立」を目指し「キャリア教育」に取り組んでいます。本校のキャリア教育の目標は、「自分の力を発揮し、役割を果たしながら、自分らしい生活を送ろうとする意欲や社会的・職業的に自立するために必要な基盤となる能力や態度を育てる」となっています。キャリア教育全体計画を踏まえ、小学部、中学部、高等部、寄宿舎の「指導の一貫性」を重視しています。5月の指導重点事項は、「自分の役割や仕事を最後まで行う児童生徒を育てる」でした。今回は、小学部の取組をご紹介します。



フローリングモップで、廊下掃除をする。



予定ボードに一日の学習名を貼る。



教室の隅々までホウキで掃除をする。



清掃用具や使い方、手順を知り、トイレ清掃をする。

進路に関するQ&A

Q 一般就労するまでの流れや手続きを教えてください（高等部保護者から）

A 高等部では、まず校内実習から始め、地域の事業所での現場・地元実習へと一歩ずつ経験を広げていきます。その中で、生徒一人一人が「自分はどんな仕事に向いているのか」「将来どのように働いていきたいか」を考えられるよう支援しています。進路については、個別面談や進路アンケート等を通してご家庭の思いも伺いながら進めています。

一般就労を希望する生徒は、学校での学びや実習を重ねる中で、事業所に障害者雇用としての採用を検討していただきます。事業所が雇用を前向きに考えてくださった場合は、特定求人票（非公開）がハローワークに提出され、紹介状を添えて応募、面接や試験を受ける流れとなります。その結果、採用が決まれば内定につながります。

進路が決定するためには、「本人のやる気」だけでなく「事業所の理解」も大切です。日々の学習の中で、自分のやりたいことを少しずつ見付け、仕事をしていく上での課題に向き合い改善していくことが、確かな成長につながります。私たち教職員も、生徒が自信をもって社会に踏み出せるよう、ご家庭と力を合わせて支えてまいります。
（文責：柿崎）